

=美術館=

1 美術館資料の収集、整理、保存及び利用に関すること。

(1) 観覧者数等

ア 常設展示室

(単位：人)

	小中生	高大生	一 般	有 料 観覧者数	無 料 観覧者数	合計	開館 日数	1 日 平均
個 人	304	173	8,315	8,792	6,790	17,606	283 日	62
団体・割引	23	24	1,977	2,024				
合 計	327	197	10,292	10,816				

イ 一般展示室

利用団体の別	展覧会の件数	観覧者数（人）	展示日数（日）	1 日平均（人）
一 般	36	23,823	144	165
美術館主催共催	8	21,671	80	271
合 計	44	45,494	224	203

ウ 会議室

利用団体の別	利用件数	利用者数（人）
一 般	430	3,184
美術館主催	15	109
合 計	445	3,293

(2) 所蔵品の充実

ア 荻須作品の寄贈

作品名	制作年	種 別
ムフタール通り	1968	リトグラフ・紙
サン・ソヴール通り	1968	リトグラフ・紙
リベラル・ブリュアンの館	1968	リトグラフ・紙
アベッス通り	1970	リトグラフ・紙
雪景色	1972	リトグラフ・紙
食料品店	1978	リトグラフ・紙
ル・パール・デ・ザミイ	1978	リトグラフ・紙
通路	1979	リトグラフ・紙
広告のある家	1979	リトグラフ・紙
通りの曲り角	1979	リトグラフ・紙
広告塔	1980	リトグラフ・紙
窓からの眺め	1981	リトグラフ・紙
ティエレ通り	1983	リトグラフ・紙
街角の家	1984	リトグラフ・紙
広告	1986	リトグラフ・紙

ラップ通り	1986	リトグラフ・紙
モンマルトルの階段	1986	リトグラフ・紙
サン・マタン運河	1986	リトグラフ・紙
サン・ジュールヴェ協会の後陣	1986	リトグラフ・紙
街かど	1986	リトグラフ・紙
ジェマッポ海岸	1986	リトグラフ・紙

イ 荻須作品の受託

区 分	作 品 名	制作年	種 別
継 続	タルト・オ・ポムとブリオッシュ	1934 年	油 彩
継 続	ジュッシュ広場の“ヴァン・タバ・リキュール”	1935 年	油 彩
継 続	ノルヴァン通り	1937 年頃	油 彩
継 続	パサージュ・ドウ・モールの煙突	1938 年	油 彩
継 続	赤と白の芍薬	1946 年頃	油 彩
継 続	ウールックの煙草屋、パリ	1953 年	油 彩
継 続	リュウ・シャルルマーニュ	1954 年	油 彩
継 続	ジェノヴァ	1955 年	油 彩
継 続	ブルジュの八百屋 “アモラ”	1955 年	油 彩
継 続	ヴェネツィア、ミゼリコルディア パノラマ	1957 年	油 彩
継 続	サン＝チュルバン	1959 年	油 彩
継 続	食料品店 “アンドレ”	1961 年	油 彩
継 続	ルーアン、メゾン・ア・コロンバージュ	1961 年	油 彩
継 続	運河の平底船	1966 年	油 彩
継 続	レストラン “ア・ラ・グリーユ”	1978 年	油 彩
継 続	ブレ・サン・ジェルヴェ	1979 年	油 彩
継 続	ヴェネツィア、スカルツィ橋	調査中	油 彩
継 続	ヴェネツィア、大運河、ゴンドラ	1960 年代	水 彩
継 続	サン・ドニ大聖堂	1949 年頃	水 彩
継 続	アニック城	1952 年	水 彩
新 規	ムフタール通り	1973 年	リトグラフ
新 規	バナニア	1977 年	リトグラフ

(3) 絵画等の修復・保存措置

作 品 名	種 別	修復・保存措置	購入・受贈年度
ポスターの壁	油 彩	作品の修復・額装改良	令和 5 年度購入
鍵屋	油 彩	作品の修復・額装改良	令和 5 年度購入
金獅子亭	リトグラフ	シミの除去・額装改良	令和 4 年度受贈

(4) 荻須作品調査

調 査 対 象	調 査 内 容	調査件数
荻須作品所蔵者	荻須関係資料の調査	2 件

2 美術に関する講演会、講習会、講座等の開催に関すること。

(1) 特別展 令和6年度特別展「安野光雅展 イマジネーション・ワンダーランド」

ア 展覧会事業

概 要	42歳の時に文章のない絵本『ふしぎなえ』を刊行し、絵本作家としてデビューして以来、次々とベストセラーを発表し続け、小さなノーベル賞とも称される国際アンデルセン賞画家賞をはじめ、歴史ある国際的な絵本賞の数々を受賞した絵本作家、安野光雅（1926-2020）の原画展を開催。本展では、安野の生まれ故郷に2001年に開館した津和野町立安野光雅美術館のコレクションから、「風景」と「物語」をテーマに作品を展覧。
会 期	10月26日(土)～12月8日(日)（39日間、開会式を除く）
会 場	一般展示室Ⅰ・Ⅱ
観 覧 料	一 般 1,000円（800円） 高・大生 800円（640円） 小・中生 100円（80円） ※（ ）内は20名以上の団体料金・割引料金
観覧者数	12,151人（1日平均312人）

イ 展覧会関連事業

(ア) ウェルカム！おしゃべりDAY

期 日	11月3日(日・祝)
内 容	小さなお子様連れのご家族、お友達と楽しくおしゃべりしながら鑑賞を楽しみたい方々を対象に、普段の静かな環境とは違った美術鑑賞の愉しみを体験していただく。
観覧者数	426人

(イ) ギャラリートーク

期 日	10月26日(土)、12月1日(日) 午前10時～・午後2時～
会 場	常設展示室、一般展示室Ⅰ・Ⅱ
内 容	当館学芸員が展覧会の見どころを解説する。
参加者数	54人

(ウ) 親子で楽しむワークショップ

講 座 名	影絵を作ろう！
期 日	11月4日(月・休) 午前10時～・午後1時45分～ (各回ともに同一内容)
会 場	会議室
講 師	浜崎ゆう子（影絵制作）
内 容	安野光雅の絵本原画を鑑賞して、親子で影絵を作る。完成した作品は、会期中、美術館に展示した。
参加者数	小学生と保護者15組

(エ) 子ども美術講座

講 座 名	どうぶつ見つけた！フロッタージュでオリジナル・アニマルを作ろう！
期 日	11月9日(土) 午前10時～・午後1時30分～

	(各回ともに同一内容)
会 場	会議室
講 師	奥田美樹 (アーティスト)
内 容	フロッタージュで転写した葉っぱや花の形を使って、オリジナル・アニマルを作る。
参加者数	19 人

(オ) 大人美術講座

講 座 名	切り絵を楽しむ
期 日	11 月 17 日(日) 午前 10 時～・午後 1 時 30 分～ (各回ともに同一内容)
会 場	会議室
講 師	山本草太 (切り絵作家)
内 容	動物や花など 20 パターン以上の下絵の中から好きな絵柄を選んで、本格的な切り絵作品を作る。
参加者数	27 人

(2) 企画展

ア 第 61 回稲沢市民展

概 要	日本画、洋画、写真、書、工芸美術の 5 部門で作品を募集。優秀作品を表彰。
応募点数	一般応募 131 点 (※無鑑査、運営委員作品を含めて 151 点)
表彰点数	愛知県教育委員会賞はじめ 31 点
会 期	第Ⅰ部 (日本画・洋画・写真) 10 月 1 日(火)～10 月 6 日(日) (6 日間) 第Ⅱ部 (書・工芸美術) 10 月 8 日(火)～10 月 14 日(月・祝) (7 日間)
会 場	一般展示室Ⅰ・Ⅱ
入場者数	2,224 人 (一日平均 171 人)

イ 第 45 回絵になる町児童生徒絵画展

概 要	荻須画伯の「絵になる町づくり」提言を契機として、写生を通じて稲沢の町を再発見し、郷土を愛する心を育むことを目的に小中学生の作品を募集。優秀作品を表彰。
応募点数	小学生 578 点、中学生 273 点 計 851 点
表彰点数	入賞 54 点、入選 196 点 計 250 点
会 期	1 月 4 日(土)～1 月 13 日(月・祝) (9 日間)
会 場	一般展示室Ⅰ・Ⅱ
入場者数	2,032 人

(3) 講座

ア 親子美術講座

講 座 名	アートスタート「親子で色あそび」
期 日	6 月 27 日(木)午前 10 時 30 分～11 時 30 分

会 場	会議室
講 師	奥田美樹（アーティスト）
内 容	米粉粘土を使って、親子で色や手触りを楽しむ。
参加者数	7組 14人

イ 子どもわくわく美術講座

期 日	7月21日(日)、8月11日(日) 午前10時～・午後2時～
会 場	会議室
講 師	大崎智仁（造形絵画教室講師）
内 容	絵の具の素材を学び、土を使って絵具を作る。
参加者数	63人

(4) ギャラリートーク

常設展ギャラリートーク

期 日	5月3日(金・祝)午前10時30分～11時・午後2時～2時30分
会 場	常設展示室
内 容	学芸員が常設展示室の荻須作品を解説した。
参加者数	24人

(5) 鑑賞教育（稲沢郷土学習）

内 容	学校教育課、市内小学校23校との連携により、平成20年度から開始した事業。児童が作品鑑賞を通じて美術に親しみ、鑑賞マナーを身につける機会を提供する。当館学芸員が荻須の紹介と作品解説などを行う。
期 間	10月30日(水)～12月6日(金)（この内13日間）
対 象	市内小学校6年生
受入人数	1,237人（引率教職員を含む）
配付資料	特別展の見どころを紹介した子ども鑑賞プログラム（A4判8頁）を鑑賞ガイドとして小学校6年生に配付した。 また、学習指導の手引き(案)を各小学校へ配付し、来館前に事前学習するよう依頼した。

(6) 美術館大学パートナーシップ事業

ア 「常設展」・「特別展」観覧状況

名古屋文理大学		愛知文教女子短期大学		合 計
学 生	教職員	学 生	教職員	322人
138人	24人	155人	5人	

イ 連携事業

名古屋文理大学

- ・情報メディア学部情報メディア学科の学生が、第61回稲沢市民展のポスターデザインを行った。
- ・特別展にあわせて連携講座を行った。

講 座 名	稲沢市文化振興財団出張演奏会「親子も一緒！アート&コンサート」
期 日	11 月 23 日(土・祝)午後 1 時 30 分～
会 場	名古屋文理大学、荻須記念美術館
内 容	【親子コース】美術館で安野展を当館学芸員の解説付きで観覧後、名古屋文理大学へ移動し、ミニコンサートを鑑賞（保護者一人につき小学生以下の子ども 3 人まで） 【大人コース】名古屋文理大学でトーク＋ミニコンサートを鑑賞後、美術館へ移動し、安野展を当館学芸員の解説付きで観覧
講 師	栗林芳彦（名古屋文理大学教授）、当館学芸員
演 奏	中村由紀子（マリンバ）・南谷ひかり（ソプラノ）
協 力	一般財団法人稲沢市文化振興財団
参加者数	40 人

3 美術館資料及び展覧会に関する解説書、図録等を作成し頒布すること。

(1) 図録等の作成

名 称	印刷部数（部）
令和 5 年度 美術館年報	130
特別展 安野光雅展 イマジネーション・ワンダーランド パンフレット	5,000
特別展 子ども用パンフレット	11,500
特別展 子ども鑑賞プログラム（鑑賞教育用）	1,400

(2) 頒布

名 称	単 価（円）	販売部数（部）
絵葉書 A（油彩画、8 枚 1 組）	500	90
絵葉書 B（水彩画、8 枚 1 組）	500	156
絵葉書 C（油彩画・リトグラフ、8 枚 1 組）	500	77
絵葉書 D（油彩画、8 枚 1 組）	500	124
生誕 120 年記念荻須高德展グッズ 絵葉書	150	594
稲沢市荻須記念美術館所蔵品図録 荻須高德作品集 (R2)	1,200	125
黒田清輝と藤島武二展 図録 (H5)	1,000	6
エコール・ド・パリの異邦人 図録 (H10)	1,000	3
開館 20 周年記念マリー・ローランサン展 図録 (H15)	1,000	6
楽しい版画展 図録 (H17)	1,000	11
三都の女展 図録 (H19)	1,000	7
彫刻 高田博厚展 図録 (H22)	1,000	0
日本画家が描いた西洋風景展 図録 (H25)	1,000	10
小磯良平展 図録 (H26)	1,700	6
パリに生きる パリを描く 図録 (H28)	1,500	22
山形美術館の名品と荻須が見たパリ画壇 図録 (H30)	2,000	1
牛島憲之展 府中市美術館コレクション 図録 (R2)	1,700	17
長谷川潔展 図録 (R5)	2,000	1
生誕 120 年記念荻須高德展グッズ 一筆箋	440	72

クリアファイル	300	275
マグネット付しおり	300	39
ノート	300	70
ブロックメモ	500	43
付箋	300	22
生誕 120 年記念荻須高德展グッズ ポスター	550	127
安野光雅展 グッズ (R6)	—	6, 277

4 美術館の管理運営に関すること。

美術館の運営等に関する審議

名 称	開催回数
稲沢市美術館協議会	2
稲沢市美術館美術品収集委員会	1

